# １２／４（水）の発表

報道発表資料の配付日時　１２月　４日（水）１０時００分

| | | | |
|---|---|---|---|
| 発　表　項　目<br>（行　事　名） | 北海道立北の森専門学院（略称：北森カレッジ）における第２回一般入学試験の実施について | | |
| 記者レクチャー<br>のお知らせ | (実施日時) | 発 表 者 | |
| | | 発表場所 | |

**概　　要**

北海道立北の森づくり専門学院（略称：北森カレッジ）では、本道の森林づくりへの意欲に溢れた多様な人材を、広く道内外から募集するため、第２回一般入学試験を次のとおり実施します。

試験は、新卒者等を対象とした「一般選考」のほか、職務経験が５年以上の社会人を対象としたオンライン面接による「社会人選考」を行います。

**１　試験概要**

| 区　分 | 一般選考 | 社会人選考 |
|---|---|---|
| 出願期間 | 令和７年１月６日(月)から<br>令和７年２月５日(水)まで | |
| 試 験 日 | 令和７年２月１６日(日) | |
| 合格発表 | 令和７年２月２６日(水) | |
| 試験会場 | 旭川市・札幌市 | オンライン |
| 入試科目 | 面接、小論文 | 面接 |

**２　生徒募集要項、出願書類等**

**こちらのＵＲＬからご覧になれます。**

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/kms/68577.html

就学期間の２年間で学費や資格取得、防護服等に約120万円の費用を要しますが、国の給付金制度を活用することにより**２年間で約280万円の支援**を受けることができる（条件あり）ほか、北海道の林業・木材産業関連団体が設立した協議会から、**実習時の宿泊代などへの助成**を受けることができます。

また、**林業・木材産業に従事する上で必要な資格を最大で16取得可能**であり、令和６年11月30日現在の求人状況は、**就職希望生徒30名に対し122企業から239人の求人**を受けています。

○お問い合わせ

北海道立北の森づくり専門学院　教務課教務係

電　話：０１６６－７５－６１６３

メールアドレス：kitamori.kyomu@pref.hokkaido.lg.jp

| | | |
|---|---|---|
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 | 上川記者会、道政記者クラブ、林政記者クラブ |
| | 同時レク | 令和６年12月3日10時 発表済み |

| | |
|---|---|
| 担　当<br>（連絡先） | 北海道立北の森づくり専門学院（担当者：教務課長 宮田 久）<br>ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１６６－７５－６１６２<br>水産林務部林務局林業木材課（担当者：課長補佐（担い手育成） 相馬 康麿）<br>ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０６－６５７９（内線２８－５８７）<br>配布元：渡島総合振興局産業振興部林務課（担当者：主幹 渡邉　哲也）<br>ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１３８－８３－７２５２ |

令和7年度

# 生徒募集中

100年先の風景(もり)をつくろう

# Kita Mori College

（年間）
**約140万円**
の支援を受けながら
16の資格を
取得可能!

就職率
**100%**

## 第2回入学試験日程

### 第2回 一般選考（旭川・札幌）

| | |
|---|---|
| 出願期間 | 令和7年 1月6日(月)～2月5日(水) |
| 実施日 | 令和7年 2月16日(日) |
| 合格発表 | 令和7年 2月26日(水) |

### 第2回 社会人選考（オンライン）

| | |
|---|---|
| 出願期間 | 令和7年 1月6日(月)～2月5日(水) |
| 実施日 | 令和7年 2月16日(日) |
| 合格発表 | 令和7年 2月26日(水) |

詳細情報はWebサイトをご覧いただくか
直接お問い合わせください。

詳しい概要と日程はこちら


お問い合わせ TEL.0166-75-6163 WEBサイト
mail. kitamori.kyomu@pref.hokkaido.lg.jp https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/kms/ 北森カレッジ 検索

Hokkaido College of Northern Forestry
北海道立北の森づくり専門学院
北海道認可の専修学校　〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号［JR富良野線（西瑞穂駅）徒歩約8分］


X（旧Twitter） Facebook YouTube Instagram

## 学院概要

# 学びのフィールドは自然豊かな北海道の大地
# 北森カレッジで「山」「森」「木」のスペシャリストに

北海道の豊かな生態系をはぐくむ森林を守り育て、将来の世代に引き継いでいく『100年先を見据えた森林づくり』を推進するという理念のもと、林業・木材産業の幅広い知識と確かな技術を身に付け、将来的に企業等の中核を担う地域に根差した人材を育成します。

林業・木材産業の盛んな旭川市にキャンパスを設け、地域や産学官と連携したオール北海道の体制により道内各地域の特徴ある森林を活用し、実践的な教育を行います。

## 教育方針

### 即戦力となる人材

就業後すぐに現場で活かせる能力を身に付ける

- 基本的な現場作業を安全かつ的確に行う技術
- 森林・林業・木材産業に関する幅広い基礎知識
- 就業後に必要な資格とコミュニケーション能力

### 企業等の中核を担う人材

将来必要となる能力の基礎を身に付ける

- 現場の統括管理や労働安全衛生などの指導能力
- 生産性向上など企業の経営マネジメント能力
- 森林や林業、木材産業等の魅力を発信する能力
- 対話や情報分析を通じ地域の活性化などに貢献する能力

## カリキュラムの特徴

階段的なカリキュラム

入学 ①体験・理解

**森林・林業・木材産業の基礎知識、現場における作業技術などの基礎を習得**

- 林業・木材産業の理解に必要な一般教養や基礎知識の習得
- 現場の基本作業を身に付けるための基礎実習
- 機械操作などに必要な各種資格等の取得

1年次

②基礎・反復定着

③応用・実践

**全道各地の多様な森林を活用した実習により実践力を養成**

- 基礎知識や技能を活かした作業現場での応用実習
- 道内各地の森林・林業の特性を踏まえた地域での応用・実践を主体とした実習
- 長期間の就業実践実習
- 地域づくり活動などへの参画

2年次

④総　括　卒業

## 北森カレッジについて

林業・木材産業に関する一定の知識と主体的に学ぶ態度を有し、本道の森林づくりへの意欲に溢れた多様な人材を広く道内外から募集します。

| | | |
|---|---|---|
| 募集定員等 | 専門課程 | 林業・木材産業学科 |
| | 募集定員 | 40名 |
| | 修学期間 | 2年間 |
| | 卒業時に付与される称号 | 専門士［農業専門課程（林業・木材産業）］ |
| 出願資格 | 道内の林業・木材産業企業等への就業を希望する、次の要件に該当する者<br>・高等学校の卒業者又は同等以上の学力を有すると知事が認めた者<br>・入学する年の4月1日現在で40歳以下の者 | |
| 学費等 | 入学検定料 | 4,220円 ※ |
| | 入学料 | 10,810円 ※ |
| | 授業料 | 年間16万3,200円 ※ |
| | その他 | 資格取得、防護服等被服、損害保険等で85万円程度<br>この他に教材、実習旅費等の実費が必要 |

入学試験については、北の森づくり専門学院ホームページの「学生募集要項」でご確認ください　※金額は変更する場合があります。

## 修学支援制度

学院での学びに専念できるよう各種支援制度を活用できます。
各種制度の詳細については、学院までお問い合わせください。

### 給付金制度及びその内容

本学院は、林業・木材産業分野への就業に向け、在学期間中、最大で約140万円/年(最長2年)を給付金として支給する制度を活用しています。林業分野への就業は、「緑の青年就業準備給付金」(国の制度)を、道内の木材産業分野への就業は、「修学環境整備給付金」(北海道の制度)をご利用いただけます。

※支給要件・返還規定があります。
※本制度については、変更となる場合があります。
（詳しくは教務課までお問い合わせください。）

### 林業・木材産業関連団体からの支援

北海道の林業・木材産業関連団体が設立した協議会から、実習時の宿泊代などへの助成を受けることができます。

## 在校生 VOICE

### 理想の将来像に向かって成長中

星 勇輔さん
（北海道豊富町出身）

高校時代に林業に携わる若者をテーマにした映画を観て刺激を受け、進路を考えた際に「森の中でチェーンソーを使い木を切り倒している」自分の姿が浮かび入学しました。現場で技術を学ぶ実習が多く、イメージしていた将来像に向かって前進している実感があります。様々な資格取得に向けサポートが充実している点もポイント。学校のカリキュラムをしっかりとこなしていれば、林業を仕事としていく上で必要な資格取得へ導かれていくシステムが整っています。

## 在校生 VOICE

### 「林業女子」として輝くために

千葉 あやかさん
（北海道伊達市出身）

「ここは自分を成長させてくれる場所だな」と日々感じています。先生方の教え方は上手ですし、わからないことを何度訊いてもていねいに説明してくれるので、教室でも森の中でも質問攻めかもしれません（笑）。実習でチェーンソーを扱う機会がありますが、体力的に問題はありませんし、反復練習により技術の向上に努めています。同学年の女子は私を含めて4人。卒業後は「林業女子」として、北海道の森の中で木と関わる仕事をしていきたいと考えています。